

**回答** 国内の姉妹友好都市であります、熊本市、結城市に働きかけたところ、4名の方が参加することとなりました。中国杭州市を含めた海外の姉妹友好都市4市につきましては、招待枠の活用方法を検討しておりました昨年11月は国内における新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが2類相当であったことや海外渡航に要する経費が高騰していたことなど、総合的に判断し見送ることといたしました。

**趣旨** 市外の車いす使用者から、本市のバリアフリーに対し指摘、助言をいただければ、本市の魅力をさらに向上できるのではないかと。

**質問** 「ふくい桜マラソン」に車いすランナーを招待してはと考えるが、福井市の所見は？

**回答** 車いすランナーの招待につきましては行っておりませんが、子どもからお年寄りまで参加できる1.5キロメートルのユニバーサル部門において、日常用の車いすによる参加が可

能となっております。  
なお、全てのランナーには大会終了後、アンケートを実施する予定であり、その中で車いすランナーの方々からもバリアフリーの関係も含めた様々なご指摘、ご助言をいただきたいと考えております。



1月1日。震度7の能登半島地震が発生しました。まずは、不幸にもお亡くなりになられた方へ、ご冥福をお祈り申し上げます。また、被災されました方へ、お見舞い申し上げます。本市としましても、災害に強いまちづくりを目指し、取り組んでいきたいと思っております。

# 人にまちに、バリアフリー！

福井市議会議員

たかだ  
**高田としひろ**

令和6年 No.2 冬号

**NEWS**

市政報告



自分らしく  
生きらるる社会を

## 1 9月定例会一般質問

**趣旨** 北陸新幹線開業後、“ハピラインふくい”へ移行する、並行在来線の利用者サービスについて、自動化や機械化に取り残される市民に対し、無人化がバリアになっていないか。

**質問** 車いす以外の方でも視覚障害者や知的障害者、さらには高齢者などに対し、有人の窓口が必要ではないですか？

**回答** 福井県並行在来線経営計画においては、利用者一人一人の目線に立ち、県民全てが利用しやすい環境を整えるために、乗降介助や機械操作などを含めた案内等のサービスを提供していくこととなっていることから、本市といたしましても、誰もが利用しやすい環境づくりに向け、ハピラインふくいと一緒になって取り組んでまいりたいと考えております。

**趣旨** 無人駅のバリアフリー化が進んでいない。

**質問** 福井市内にある3つの無人駅、森田駅、越前花堂駅、大土呂駅

もバリアフリー化を進めることで、一層の利用促進が図られ、利便性が飛躍的に向上されると考えますが、福井市の所見は？

**回答** 森田駅、越前花堂駅、大土呂駅のバリアフリー化についてですが、森田駅、大土呂駅は築75年、越前花堂駅は築55年と老朽化が著しいため、利便性向上による利用促進を図るためには、駅舎の改修が必要だと考えております。

今後駅舎の改修を計画的に進めていく中で、バリアフリー化についても、利用者をはじめ沿線住民の意見を伺うとともに、ハピラインふくと協議しながら対応していきたいと考えております。



▲ J R 越前花堂駅・西口

## たかだ 高田としひろ コンタクト

みなさまからのお声やお困りごとをお聞かせください。

事務所

〒918-8015  
福井市花堂南1丁目3-24  
【携帯電話】090-8092-7321  
【Tel/Fax】0776-34-2075  
【メール】taka-18@mx5.fctv.ne.jp

WEBで情報発信しています  
ぜひご覧ください



ホームページ



Instagram



市民クラブ  
高田 稔浩 議員

**趣旨** ハートフル専用パーキング等の設置台数を、高齢者ドライバーの増加に合わせて、増やしていく必要があるのではないか。

**質問** ハートフル専用パーキングは、施設の出入口の近いところに設置してあります。このハートフル専用パーキングとは別に、幅が350センチメートル以上の駐車スペースを施設の出入口から遠いところにも設置してほしいという意見があります。福井市の所見は？

**回答** 出入口から遠いところに幅の広い駐車場を設置することについてですが、福祉としては、まずは専用パーキングが適正に利用されることが重要だと考えておりますので、今後とも県とともに適正利用に向けた啓発を、まず行っていきたいと考えています。



**趣旨** 車いす使用者は、自動車の乗降に時間がかかります。雨天時、濡れないで乗降したい。

**質問** 出先機関を含めた市有施設において、ハートフル専用パーキングに屋根の整備が必要だと考えますが、福井市の所見は？

**回答** 福井市公共施設バリアフリー連絡調整会議を設置しています。調整会議では、各所管施設のバリアフリー化の進捗状況を共有しながら、その推進に向けた協議を行っているところです。

今後は、障害のある人などが市有施設を利用する状況、これも把握、共有しながら、専用パーキング等の整備について、しっかりと協議を行ってまいります。

## 2 12月定例会一般質問

**趣旨** ホテルのバリアフリー化の状況は、どうなっているのか。

**質問** 第4次福井市障がい者福祉基本計画には、法律や条例に基づき、新建築物については建築主に対する指導、助言を行うとありますが、既存のホテル・宿泊施設に対し、整備基準に客室数が満たしていない場合、指導助言は行うのでしょうか？

**回答** バリアフリー法では、法制定された平成18年以降に建てられたホテルや旅館などの特別特定建築物が、円滑化基準の規定に違反している場合は、建築主に対し指導助言を行います。なお、法制定以前に建てられた既存のホテルや旅館などの場合は、基準への適合義務は生じません（福井県福祉のまちづくり条例は、平成8年制定）。

**趣旨** 市内ホテルのバリアフリールーム数について調べたのですが、分からない。

**質問** 福井県福祉のまちづくり条例やバリアフリー法の基準に適合した客室が、どれだけあるのでしょうか？

**回答** まちづくり条例では、新築等の宿泊施設において床面積2,000平米以上の場合、車いす使用者等に配慮した客室を、1以上設けることとなっており、基準に適合した客室数は4施設で4室でございます。また、バリアフリー法では、ホテルや旅館の床面積2,000平米以上かつ客室総数が50室以上の場合に、車いす使用者用の客室を1以上設けることとなっており、この基準に適合した客室数は、福祉のまちづくり条例と同じ施設等で4施設4室となっております。



**趣旨** 障害者自身の主体性が発揮できる、障害者団体の活動に期待するところは大きい。

**質問** 障害者団体に対し、どのような支援を行っていますか？

**回答** 市内の障害者福祉向上のための活動を行っている団体に、補助金を交付することとしており、今年度は市内7つの団体に補助を行う予定でございます。本市としては、これら団体への支援は、障害者の自立と社会参加の促進につながることから、非常に重要と考えております。

**趣旨** 障害者団体は、市にとっても障害者行政を行う上で、障害当事者やその家族の意見を求める、大切な役割を担っている。

**質問** 障害者団体の存続及び活動支援は、市にも責任があると思いますが、福井市の所見は？

**回答** 障害者団体の、皆様からいただく貴重な御意見は、本市の障害者福祉施策を進める上で欠かせないものと考えておりますので、引き続き、様々な形での支援を行ってまいりたいと考えております。

**趣旨** 北陸新幹線が開業し、本市においてもスポーツツーリズム、ユニバーサルツーリズムが盛んになるものと思われる。

**質問** 姉妹友好都市から、選手を「ふくい桜マラソン」に招待するなどの、交流事業のお考えはありますか？